

利用者による 児童発達支援事業所自己評価表

公表日： 2025年 9月 26日

実施期間： 2025年 7月 4日 ～ 2025年 7月 18日

事業所名： 町田市子ども発達センター

対象人数： 71家庭 回答者数 51家庭 回収 71.8%

・個人やグループが特定できる内容に関しては、一部文章を変更し記載しています。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90.2%	7.8%		2.0%	・屋外がもうすこし充実するとよいと思います。 ・子どもの人数によっては密で不十分になってしまうスペースもある。 ・中庭がもう少し広かったら良かったなと思います。 ・時々2クラスで利用する時、人が多いな、と感じます。プールも3クラスの方なのですが、多く感じます。	・活動等のスペースは基準を満たしていますが、他グループとの交流の場面など、活動場面や活動内容によって狭く感じる場合は、お子さんの人数に応じて活動の場所を分けるなどの配慮を行っています。 ・子どもたち一人ひとりの特性、興味、発達等を考慮しながら、適切なスペースで遊びや生活を経験することができるように活動をさらに工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	84.3%	11.7%	2.0%	2.0%	・月曜日の親子療育日の先生の人数が去年までと比べて減った気がします。初めて行く知らない移動教室の際、子供の事情で親子で出遅れてしまった時に親子だけでの移動になってしまい、次のお部屋が何階なのかどこなのかわからず2階と3階を彷徨って往復してしまうことが増えました。 ・水色の部屋、あおのへや、紺の部屋と青系が多すぎて混乱してしまっております。去年までは親子だけで彷徨うなんてことはなかったのですが、お部屋の数が増えたのでしょうか。 ・子供の人数から考えれば適切な人数だと思いますが、他のクラスへ担任がヘルプに行ってしまう事があると聞いているのでそこはクラスの担任を持っていない別の先生にヘルプに行ってもらべきだと思います。配置されている先生で療育してもらいたいと思っています。 ・よく他のクラスのヘルプに担任の先生が行かされており、人員が足りないという理由で療育内容が変更になったりする。 ・担任の先生が、人手が足りないせいで子供達が適切な療育を受けられていないと言っていた。 ・先生が忙しそうな時があって、人が少ないんじゃないかと気になります。 ・基準は満たしているが、子どものケア度によってもう少し人数を増やして欲しい。	・各グループの職員配置については、昨年度同様の職員数の中で基準以上の人数を配置していますが、今年度は週5日通園のグループ数を1グループ増やしたことで、1グループに対しての職員数が減ったと感じることがあったかと思います。 ・各療育室の名前をわかりやすくするために、療育室外に部屋の名称に合わせた色の掲示を行いました。 ・職員の休み等については、お子さんの療育活動の十分な実施を念頭に、1グループに負担が偏ることがないように今後とも各グループ間での調整を行っています。 ・引き続き、保護者のみなさまとコミュニケーションを取りながら、お子さんの発達を支援していきます。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
環境・体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94.1%	5.9%			・わかりやすいと思いますが、どのような意図があって、ついたてを立てているのか、なぜ壁を向いて食べるのか、どのような意図でこのような配置になっているのかを、親に説明が欲しいなと思いました。 なぜこの子だけ隔離された状態での給食なのか、寂しくないのかな？ など最初見た時は衝撃を受けたので、心配になってしまうことがあります。	・刺激を整理し、集中しやすい環境を整えるためについたてを使用しています。お子さんにとってわかりやすい環境づくりについて、保護者のみなさまにご理解を得られるように、支援の意図や理由を共有しながら進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	84.3%	13.7%	2.0%		・もう少しほこりを取り除いてほしい ・玩具がもっと充実してるといいなと思います。 ・ジョイントマットの劣化や汚れが気になる所があるので新調してほしい	・清潔で安心な環境を提供するために、清掃の頻度や用具などを見直しました。毎日のおもちゃ消毒と合わせて、これからもお子さんが心地よく過ごせる環境にしていきます。 ・おもちゃや用具等については使用年数などに合わせて、順次新しいものに入れ替え、心地よく過ごせる環境づくりを行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88.3%	7.8%		3.9%		※定期的に様々な研修を実施し、職員の専門性向上・スキルアップを図っています。 ※保育士、児童指導員、心理発達相談員、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保健師、看護師等の専門スタッフが、必要に応じて関わりながら、お子さん一人ひとりに合わせた支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	84.3%	5.9%		9.8%		※当センターでの「支援プログラム」は、ホームページにて公開しています。「支援プログラム」に基づいた個別支援計画を作成し、支援内容を明記した上で支援を行っています。 ★町田市子ども発達センター支援プログラムの公表 （まちだ子育てサイト内） アドレス：https://kosodate-machida.tokyo.jp/mokuteki/3/5/2/13248.html
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94.1%	3.9%		2.0%		※ご家庭の様子の共有や療育の様子から、お子さんのことを十分理解し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しています。



チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92.1%	5.9%		2.0%	・移行支援とは何を指すのか分からない。小学校入学準備の支援を指すならば十分だと感じる。	・移行支援とは療育機関から幼稚園や保育園、または就学などの生活環境の移行をする際に、お子さんにとって過ごしやすい環境や支援方法などを移行先と共有し、スムーズに生活の移行ができるようにするための取り組みです。 ※児童発達支援計画は、必要な項目選択や、具体的な支援内容となるように、お子さんを適切に評価し、作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	84.3%	11.8%		3.9%		※生活や遊びの中で児童発達支援計画の目標達成に向けた取り組みをしています。支援内容について共有するためにも親子療育日等、療育に参加する機会を設けておりますので、ぜひご参加ください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	78.4%	17.6%	3.9%		・プールやプレイルーム、お部屋での遊びがいつも同じグループ同士での活動が多く、全く関わらないグループがあると、とても寂しいです。 いつも同じグループ同士ではなくて 週ごとにローテーションでプールや遊ぶグループの組み合わせを変えて欲しいです。 ・ほかのグループに比べて部屋の移動が少ないのと毎日ほぼ同じ時間割で過ごしている感じがします。 ・内容が担当の先生任せな気がするが、工夫はされていると感じる。	・グループ同士の交流については、活動のメンバーが頻繁に変わることでお子さんが混乱することが懸念されるため、安定したメンバーで活動することを基本にプログラムを調整しています。 ・親子療育日のプール活動のグループについても、同じメンバーでの活動の中で、安定して取り組めるようになることを目的にグループを固定しています。様々な活動の場面で、他グループのお子さんに関わる機会を持てるように検討していきます。 ・日々の繰り返しの活動の中で、生活の流れの見通しを立てることを目的に、登園後の活動や食後の活動など、生活の中でポイントとなる活動を固定しています。今後も、お子さんの興味や発達に合わせたプログラムを工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	43.1%	11.8%	19.6%	25.5%		※高校生療育体験ボランティア、中学生職場体験のほか、夏まつり等の行事への青少年ボランティアの参加等で異年齢での関わりの機会を設けています。 ※昨年度は試行として地域の保育園の年長児とはなグループで交流の機会を持ちました。今後も交流の機会を検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92.1%	3.9%	2.0%	2.0%		※入園前に実施する契約及び入園説明会で、契約及び重要事項説明書に基づいて説明を行っています。引き続き、わかりやすい説明に努めていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					※お子さんや家族のニーズに合った児童発達支援計画（個別支援計画）を示しながら、具体的に内容を説明しています。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	96.1%	3.9%				※「ペアレントプログラム（にこにこプログラム）」や保護者研修会を開催し、お子さんの発達を理解することや、関わり方のヒントとなるよう家族支援を行っています。 ※保護者研修会については、9月から1月にかけて、全3回を予定しています。（オンライン参加可）
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	88.2%	9.8%		2.0%	・連絡ノートが手書きからアプリになった事でどの先生からのコメントなのかがわからず、担任の先生ですら遠い存在になってしまったのと、 他のグループの先生方も含めて、どの先生が自分の子供のことをどのくらいよく知っているのか、わからなくなっていました。不安が増えてしまいました。 ・毎日、細かくその日の事を伝えて頂いてます。 ・親子登園の時、先生の方から声を掛けてくれて、相談というかお話しやすい環境を作ってくれていて、ありがたいです。	・連絡ノートについては、担任が複数の目で見たとお子さんの様子を記載しているため、グループ担任からの返信という形で記入しています。エピソードの詳しい内容などについて知りたい場合は、お気軽にお声がけください。 ・お子さんの状況をご家庭と伝えあい、お子さんの発達や健康状況について、共通理解することを大切にしています。お子さんの様子については親子療育日や日々の申し送り等で、引き続きご家庭と共有をしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92.2%	5.8%	2.0%			※今後も子育てに対する疑問や不安に寄り添い、適切な助言や支援に努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90.2%	3.9%	2.0%	3.9%	・先生の本当の考えや、本心を聞きたい時があります。	・担任の目で見たとお子さんの姿や対応方法、成長の見通しなどをサービス提供の記録（連絡ノート）や送迎の場面、親子療育日などを通してお伝えしていますが、より詳しく知りたいことや疑問に感じることなどありましたら面談の機会を設けますので、お気軽にお声がけください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	68.6%	7.8%	2.0%	21.6%		※6月に「小学生の保護者を囲んで」をテーマに、今年もパネルディスカッション形式のあつまりをセンター主催で実施しました。 ※夏祭り等の行事では、きょうだい児を含めたご家族での参加ができるように企画しています。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	78.4%	5.9%	2.0%	13.7%	先生方の情報共有や縦割りでないやり方で連携がとれており、とてもスムーズに対応してくれます。大変助かります。	※ご意見、ご相談、申し入れについては、いつでもお声かけください。引き続き、真摯に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	84.3%	11.7%	2.0%	2.0%		※翻訳アプリ等を使いやすくするため、おたよりのふりがなを順次廃止しています。そのほか、ひらがなの対応などをご家庭の状況に合わせて行っています。 ※カードや実物などを使用して、お子さんの要求や思いなどを具体的に汲み取りながらコミュニケーションに繋げる支援を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	96.1%			3.9%		※成長療育支援システム「HUG」を活用し、定期的なお便りの配信等を行っています。 ※自己評価の結果など、町田市子ども発達センターからのお知らせは、まちだ子育てサイトに掲載しています。 ★町田市子ども発達センターのご案内 (まちだ子育てサイト内) アドレス： https://kosodatemachida.tokyo.jp/mokuteki/3/5/2/7455.html
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92.2%	3.9%		3.9%		※個人情報保護に関する法律に沿った対応を行っています。
非常時の対応等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78.4%	5.9%	2.0%	13.7%		※感染症や不審者対策等、緊急時の対応については、マニュアルを策定の上、年間の計画に基づき訓練及び研修を実施しています。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
非常時の 対応等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出その他必要な訓練が行われてい ますか。	82.4%	3.9%		13.7%	・とても大変だと思いますが、ありがたいです。	・自衛消防訓練の年間計画に基づき、地震や火災等を想定した避難 訓練を月 1 回実施しています。また、親子活動日の訓練や年 1 回の 引渡し訓練では保護者の方にも訓練にご参加いただいています。 ※自然災害や感染症の蔓延等、緊急事態の際にも可能な限り事業を 継続するための計画を策定しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための 計画について周知される等、安全の確保が十 分に行われた上で支援が行われていると思い ますか。	92.2%	5.8%		2.0%	・プレイルームで遊ぶ人数と置かれている障害物が増えすぎて危ない 気がします。 ・他のグループとの交流は今後の生活に活かされる場面も出てくると 思うので、先生達で連携して安全に見守ってもらえたら良いなと思い ます。他のグループの子ども達のパワーに圧倒される事も多いです が、そこを先生達がどうやってフォローして繋げて行くかが大事だと 思います。 ・それぞれのグループの子ども自身の立ち振る舞いや意識が先生達の フォローで少し変わるんじゃないかなと期待しているので、そこは先 生の配置を少し増やすなどして安全に交流を持ってもらえると良いな と思います。 ・ミニアスレの部屋は角がたくさんあり、危険を感じる場面がいくつ かあったため、事故が起こらないためにも保護シートを貼っていただ きたい。	・活動スペースと人数のバランスを鑑みて、プレイルームで同時に 遊ぶ人数はこれまで同様最大 20 名までとしています。 ・ プレイルームは安全性が懸念される状況を改善するため、遊具 の配置の見直しや、遊具からの落下を防止するための柵を設置しま した。お子さんの様子に合わせて遊びの環境を随時見直し、適切な スペースと安全性を確保できるよう努めます。 ・ ミニアスレの部屋は事故を未然に防ぐために、保護シートや角 ガードなどの設置を引き続き進め、子どもたちが安全に遊べる環境 を提供できるようにいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、 事業所から速やかな連絡や事故が発生した際 の状況等について説明がされていると思いま すか。	92.2%		2.0%	5.8%		※怪我等があった際には速やかに保護者の皆様に連絡する体制を整 えております。今後も速やかに適切な情報伝達を行っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	92.2%	3.9%		3.9%		※お子さんにとって安心して通える場所であると感じていただけて いること、大変嬉しく思います。これからも子どもたちの笑顔が増 えるようなサポートを続けていきます。

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答・補足
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	88.2%	9.8%		2.0%	・入所し始めとくらべものにならない程です。家を出る際、毎日ワクワクしている様子です！ ・おゆあそびを毎年楽しみにしている	※当センターの療育がお子さんにとって楽しい場所であること、心から嬉しく思います。今後もお子さんが毎日楽しみに通えるような環境を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	80.4%	17.6%		2.0%	・時間がもっと長ければ助かります。 ・きょうだい児保育のお預かりの時間をあと少し延長してもらえたら月曜日の親子通園の時にみんなで一緒に帰りのお集まりが出来ていいなと思います。 ・移動が大変だったりするかもしれませんが、活動にメリハリが出るのもっと良いと思います。 ・きょうだい児の通園バス利用について、検討をお願いしたいです。 ・親子通園日だけなのかもしれませんが、おもちゃで遊ぶ時間が多いように感じています。何か意図があるのでしょうか。	・療育時間の延長については、お子さんの体力と療育プログラムのバランスを鑑みて現在の時間が適切と考えています。そのため、現在のところ延長の予定はありません。 ・きょうだい児保育の利用時間の延長については、利用終了後におもちゃの消毒等の環境整備やその他の業務を行っているため、延長が難しい状況です。 ・きょうだい児の通園バスの利用についてはバス車内での安全確保の観点から乗車はできません。ご了承ください。 ・夏期等戸外での活動が難しい時期には室内での活動内容に偏りが生じる場合があるため、年間を通じて活動内容のバランスを取っています。それぞれの活動内容につきましては、お子さんの様子に合わせてバランスの取れたプログラム内容を引き続き検討するとともに、保護者の皆様に意図をわかりやすくお伝えできるように努めていきます。